

じゅぷ通信

特定非営利活動法人りあん 地域生活サポートセンター「じゅぷ通信」第8号 2008年9月

今から25年前、大学の卒論で「日本型社会福祉構想」なる物を取り上げました。これは障害者の介護は「障害者の自助・家族間の互助・民間の活力」を基本とし、足りない分のサービスは、「有料化」と「企業サービス化」により福祉を売り買いすることにより、福祉産業を促進していくという「福祉切り捨て」の経済構想でした。

当時、公的サービスも満足にない中で、地域の中で生活を始めた多くの「障害」をもつ人々が、自らをかけて、地域にしがみつきながら生きていた中で出てきたこの構想に大いに憤慨したことをおぼえています。「福祉は自助や互助では必要を満たせないからこそ社会的に求められ、公的サービスとして無償で保障されるべきで、売り買いする物ではないと……。」

25年たった今、皮肉なことに「介護サービス事業所」の運営に関わっているわけですが、決して政府が目論んだとおりの「企業サービス化」になってはならないと思っています。それは、「外出がしたい」「自立したい」という思いで、公的サービスがない中自らが血がにじむような努力をして介護体制を組織し生活してきた人、利用できる公的サービスを求めて汗を流して行政交渉に通った人、そんな障害当事者の血と汗の努力なしにはなかったであろう現在の制度や事業所だからです。

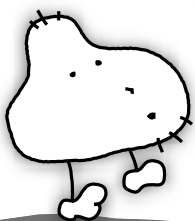
様々な「介護サービス提供事業所」が林立し、めまぐるしい制度の動きに右往左往させられる中、今一度私たちが「じゅぷ」をはじめた背景を思い返し、利用者さんと同じ目線で利用者さん本位のサービスができているかという事を点検していかなければと思っています。

どんな些細なことでも結構です。声をお聞かせください。

運営委員長 前田 雅文

今回は、2007年度の事業報告ならびに収支報告号です。
(そのため、川柳・ヘルパー日記などお休みです…)

最終ページは、このところ、人の動きやそれぞれに報告などありますので、常勤からひとことずつ便りです！



2007年度事業報告(要約・抜粋)

全体的に事業規模が計画よりも大きくなった。居宅支援事業は利用希望が多くあり、利用希望に応えられず断らざるを得ない状況が続いたが、従業員も増員し、できる限り対応するようにした。当事業所のみならず、地域全体としてヘルパーが不足している状況であるため、利用希望が多くある状態は今後も続くことが予想され、さらに従業員を増やすべく募集し続けているが、未だ不足している。特に、車を利用した移動に関する支援については一昨年の制度改正以降、実施する事業所が少なくなったこともあり、依頼が多くある。

常勤従業員はヘルパーとして従事するだけでなく、登録ヘルパーの調整や、緊急対応、支援のあり方についての検討、などに力を入れたいところである。しかし、利用が全体的に増える中で、まずは自身がヘルパーとして動かざるを得ない、という状況が続いている。

昨年度途中より委託を受けている相談支援事業についても相談件数が増加してきており、多忙であった。

私的居宅支援事業「ちゅぷ」、研修開催事業は計画通り実施した。

広報啓発事業、各種研修への参加については、上記のような状況であったため、従業員に余裕が無く、十分に実施できたとは言い難い。

利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
天津市	42	39	40	43	40	39	40	40	42	40	40	40
その他	15	16	15	17	16	14	16	15	15	16	14	14
合計	57	55	55	60	56	53	56	55	57	56	54	54

介護種別利用時間数(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	139	134.5	178	158.5	156	171.5	162	148.5	169	138	136	178	1869
通院介護	15	26.5	33.5	34.5	34	32.5	24.5	31	26	16	25.5	6.5	305.5
家事援助	151.5	149.5	172	167.5	144	152	174	130	59	49	56.5	67	1472
行動援護				5									5
重度訪問介護	904	973	1038	967	1022	1115	1036	979	1072	1009	1021	1095	12230.5
移動介護	215.5	191	210.5	242	244	257.5	203.5	155.5	232.5	179.5	206	172	2509.5
グループ支援	73	84	32	79	54	34	42.5	35	85.5	59	119	48	745
合計	1498	1559	1664	1654	1654	1763	1643	1479	1644	1451	1564	1566	19136.5

※以上の2表は、居宅支援事業と外出支援事業を含む

従業員数(実働)(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	4.25	4.25
常勤相談支援員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤事務員	0.75	0.75	0.75	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
非常勤ヘルパー	46	46	52	51	50	54	52	48	51	50	53	53

※常勤に少数があるのは勤務時間の按分による常勤換算のため

例) 相談支援員の1名は2名の常勤換算(0.75+0.25=1)

※ヘルパーには、居宅支援事業と外出支援事業を含む

お知らせ

これまでから、遠隔地での利用(例: 大津・湖南地域外への片道の移動支援利用や、大津・湖南地域以外での居宅介護)の場合、それに要した交通費の実費と移動に要した時間に応じて料金を負担頂いていますが、2008年10月1日より以下の通り変更します。

	変更前	変更後
移動に要した交通費 ()内は自動車を使用した場合	実費 (1キロメートルあたり 20円)	これまで通り
移動に要した時間に応じて	30分あたり 500円	廃止

特定非営利活動法人りあん 地域生活サポートセンターじゅぷ事業活動収支

2007年4月1日～2008年3月31日 (単位:円)

	今年度予算額	決算額	差異	備考
収 入				
1 会費収入	150,000	110,000	-40,000	
会費収入	150,000	110,000	-40,000	3団体30,000 16個人80,000
2 寄付金収入	0	3,150	3,150	
寄付金収入	0	3,150	3,150	
3 助成金収入	477,000	1,763,020	1,286,020	
助成金収入	477,000	1,763,020	1,286,020	社宅477,000・家賃286,020・重訪1,000,000
4 事業収入	42,140,000	46,866,221	4,726,221	
居宅支援事業収入	31,200,000	35,481,191	4,281,191	
外出支援事業収入	7,200,000	7,531,025	331,025	
相談支援事業収入	3,180,000	3,166,800	-13,200	大津市委託3,150,000・調査16,800
福祉輸送事業収入	180,000	338,905	158,905	
私的居宅支援事業収入	130,000	184,300	54,300	
研修開講事業収入	250,000	164,000	-86,000	
5 雑収入	26,025	71,472	45,447	
雑収入	26,025	71,472	45,447	
事業活動収入計	42,793,025	48,813,863	6,020,838	
支 出				
1 人件費支出	32,999,625	35,394,282	2,394,657	
給与手当	26,941,500	28,970,520	2,029,020	
賞与	4,108,125	4,583,826	475,701	
法定福利費	1,950,000	1,839,936	-110,064	
2 事務費支出	710,000	641,375	-68,625	
福利厚生費	350,000	554,475	204,475	退職金共済・慶弔見舞金など
研修費	350,000	80,900	-269,100	
諸会費	10,000	6,000	-4,000	
3 事業費支出	7,562,000	7,415,935	-146,065	
旅費交通費	120,000	120,000	0	通行料など
消耗品費	150,000	247,222	97,222	給与ソフト・自転車・パソコン
印刷製本費	55,000	63,122	8,122	通信・封筒など
水道光熱費	220,000	228,713	8,713	水道・電気・ガス・灯油など
広告費	5,000	20,000	15,000	
車両費	420,000	78,054	-341,946	車両賃借・整備・車検など
燃料費	700,000	913,117	213,117	ガソリン代
通信運搬費	400,000	479,117	79,117	電話・ネット通信費・郵便など
会議費	1,000	0	-1,000	
事務用品費	40,000	54,416	14,416	ファイル代など
新聞図書費	20,000	54,000	34,000	書籍購入など
手数料	80,000	146,892	66,892	振込手数料など
損害保険料	311,000	547,230	236,230	自動車保険250,000・福祉サービス保険61,000
賃借料	2,550,000	2,532,630	-17,370	社宅708,000 駐車場422,400 事務所1,260,000
租税公課	15,000	67,449	52,449	
リース料	750,000	743,071	-6,929	プリンタ・介護請求ソフトなど
食料費	15,000	6,827	-8,173	
支払報酬	1,200,000	1,109,040	-90,960	労務・会計・セコム・研修時講師・ネット管理
交際費	10,000	5,000	-5,000	
雑費	0	35	35	
予備費	500,000	0	-500,000	
4 減価償却費	408,631	1,007,031	598,400	
減価償却費	408,631	1,007,031	598,400	車輛879,423 設備70,592 器具57,016
事業活動支出計	41,680,256	44,458,623	2,778,367	
事業活動収支差額	1,112,769	4,355,240	3,242,471	

尚、事業報告書、計画書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、など参照を希望される方は、申し出て下さい。全て、公開しています。

編集後記

前回(7号の川柳)の続きですが、体重は無事に元に戻りました。と言いますのも、この1年ほど結構走ってます。9月にはフルマラソンに挑戦です! あ、それから、8月8日に結婚しましたので報告しておきます。あらためて公私共々よろしくお祈いします。(梁井将仁)

昔は…、今の若者は…などと言うようになると歳を取ったということです。そういう年齢になってきました。異論を唱える方もお有りでしょうが、20~30年前に比べれば障害者を取り巻く環境も随分変わりました。一方で障害者間の横の繋がりや、障害者と健常者の人と人としての関係性が薄くなってきているように感じます。そう感じること自体歳を取ったということでしょうか…(汗)(谷井敏治)

私事ですが、結婚してまもなく1年になるろうとしています。いろいろと変化はあるのですが、インターネットで面白い記事を見つけました。「夫のおこづかいはいくらなのか?」というものです。独身時代は何も考えず浪費していましたが、さすがに結婚するとそうもいかず気になるところです。結果はというと1位はなんとびっくり0円(28%)。2位が3~4万円(22%)。0円というのは、おそらく必要経費だけはもらっているということだと思のですが、昨今のご時世を見ていると仕方ないのかなあと感じます。ちなみに私のこづかいはご想像にお任せしますが、1位と2位のあいだぐらいです。(阿部正之)

このたび、一身上の都合により9月いっぱいまで退職することになりました。常勤としては丸4年間お世話になりました。ありがとうございます。ヘルプを通して皆さんに教わったことを活かして、これからも、ほちほちマイペースでがんばっていこうと思います。その辺で出会ったらぜひくまちゃんって声をかけてください!(熊澤由美子)

じゅぷに入って1年半が経ちました。早いですね…。未だに最年少には変わりありませんが!!ただ、最近大学生と関わると…みんな若いな～と感じます。というか、年取ったな～と感じます…。みんな年齢の話してるので、私もしてしまいました…。今年の夏はホントに暑いですね。日焼けしたくない!と思って対策とるんですが、追いつきません。おかげで腕はポッキー。顔も日に日に黒くなってきてる気がします。熱中症や夏バテに気をつけて、おいしいものを食べて、この夏を乗り切りましょう!!(國實紗登美)

みなさんこんにちは!!今年二月よりじゅぷの常勤ヘルパーとして働かせてもらってます、上井英里と言います。以前は、福祉系の専門学校を卒業後、ずっと老人系の入所施設で働いていたのですが、求人票をみて、じゅぷの存在を知り、すぐ電話をかけ、面接をしていただき、採用して頂くことになりました。現在じゅぷに入社して、半年が経ちました。めちゃくちゃドジな私を皆さん怒りもせず、温かい目で見守ってくださって本当に、感謝の毎日です。そろそろ、「仏の顔も三度までやで」と言われそうな気がします(笑)がんばりますのでどうぞよろしくお祈いします。(上井英里)



皆さん初めまして!この8月より常勤ヘルパーとなった目片真弓と申します。大津市ではあの方と同じ“めかた”です(笑)。まだお仕事ほとんどしていない今は不安9割といった感じ。後の1割はスタッフが全力で受け入れてくれてるから頑張れるかなと?私が入社することで平均年齢を上げてしまいますが、その分人生経験も豊富!?職業から私生活においては、夫、子ども2人(高3と成人している障害のある子)と色々な場面で葛藤しながら♪人生いろいろ♪と歩んでる最中です。ハンディキャップを持っている方々と気負わず同じ空気を感じられるようになればいいなあと思ってます。歳は気にせず、「めかちゃん」と呼んでもらえたら嬉しいです。どうぞよろしくお祈い致します。(目片真弓)

